

4.11 特別シンポにあたり寄せられた質問

(事前、当日を含め寄せられた全ての質問をまとめました。)

野口邦和先生に対する質問

○放射能に汚染された場合、風向きなどによって、汚染の度合いが各地で違っていますが、農業をするにあたり、同じ敷地内によっても、放射能汚染の度合いは、違うものなのでしょうか。
(女性・20代)

○年間被ばく量が1ミリシーベルトから20ミリシーベルトに引き上げることにについて、どのように思われますか？健康に影響はないのでしょうか？
(女性・20代)

○当日の資料の「放射線が私たちにももらす影響」6ページ11～12行「生乳として飲用せずにチーズやバターに加工すれば食用可能である」とありますが、チーズは凝縮されるから、危険なのでは？チェルノブイリなどでもチーズ等を摂食して被害となったという話を聞いたように思います。
(女性・30代)

○昨日の(10日)のテレビ番組で、慶応大教授(?)が医療の検査では、「ギガ単位」の放射性ヨウ素が子どもに使用されているが全く問題がない、ガンになったというようなことはない、全く安全だというような発言(必ずしも正確ではないが)をしていたが、医療従事者の認識はこの程度のものなのでしょうか。
(男性・50代)

○現段階では放射性物質の規制値が世界で統一されたものはなく、国や国際機関(IAEAなど)によって違っている。日本の原子力安全保安委員会が出す数値、及び安全性をそのまま信じてよいのか、考えを聞きたい。
(女性・60代)

○サイト名を忘れましたが、「放射線と人体」という解説のなかで、“低線量はむしろ人体への刺激効果がある。大量では有害なものでも、わずかな量だと人体に生理的刺激を与えて活性化させる(本人注:「放射線ホルミシス」と呼ばれているのだそうです)——三朝温泉のラジウム泉とか有馬温泉など温泉中のラジウムやラドンなどがそうである”という記述がありました。少量であって心配はない論の一つと思いますが、放射線防護学の専門家として、ご意見をお聞かせください。
(男性・60代)

○放射能汚染の野菜などには、調理法である程度対処できると思いますが… ①魚の汚染(体内蓄積も含め)はどう見れば良いか。②降雨後、汚染物質が浄水場にたまる。テレビでは、雨が降り出したら水の汲み置きをと言っていたが、適切な対処は？
(男性・60代)

○炉には制御棒が地震などで燃料棒の間に入り、臨界状態から一瞬にして安全状態にすると、東海村の実証炉運転で語ったはずだが、今回の炉には制御棒はないのですか。安全神話の宣伝に核物質の扱いについて東海村でバケツでの事故について国民に知らせるべきである。広島長崎、ブラボ実験の被害の方々に対し、国は責任を持つべきである。以上三点で情報と連帯の方法を知りたい。
(男性・60代)

吉井英勝衆院議員に対する質問

○１．お恥ずかしい話ですが、原子力発電のしくみについて、よくわかりません。放射能と放射性物質などの違いも同様です。核燃料の大きさ・中味と発電のメカニズムについて、前置のご説明をお願いできないでしょうか。

２．官僚や東電の広報は皆、口をそろえて「人体に影響のないレベル」と～ミリシーベルトの説明をしていますが、その根拠が示されないので、全く信用できません。彼らの根拠は、そもそもあるのでしょうか。あるとすれば、どんなものなのでしょうか。

（女性・40代）

○京都大学の小出さんが、原発なしでも電力は十分に足りていると主張されていますが、吉井さんはどうお考えですか？

（男性・40代）

○インターネットで出回っている平井憲夫さんの「原発がどういうものが知ってほしい」

（<http://www.iam-t.jp/HIRAI/pageall.html>）という文書をご存知ですか？その内容をどう思われますか？

（女性・50代）

○１．首都圏に原発はないといわれているが、実際には、大型の原子炉を搭載した空母が停泊している。この空母が停泊しているときに津波が発生し、石巻や気仙沼の大型漁船のように陸上に打ち上げられるという事態は想定されるのでしょうか。もし想定されるとすると、原子炉の冷却はどのように行われるのでしょうか。

２．福島原発について、東電は制御棒が装てんされて原発は停止したといっていますが、そんな短時間で制御棒が完全に装てんされるものなのでしょうか。どうしても納得がいきません。

（男性・50代）

○今後の事故収束に向けてのシミュレーション。どんな事態（余震での炉の状態の悪化等の条件で）があり得るか。最善←→最悪の幅での予測が知りたい。

（女性・60代）

○半減期ですが、測定はどうするのか？短い物は解るのですが、？万年とか？億年といった物（プルトニウム等）。

（男性・60代）

○なぜ共産党はスッキリと＜脱原発＞と言わないのか？その根拠に「原子力の平和利用はよい」という考え方があるのではないのか？神奈川では黒岩氏が＜脱原発＞を強調して知事に当選した。赤旗では原発についてのスローガン——大見出しが日替わり定職のように毎日くるくる変わるようでは、市民の信頼は得られない。「安全最優先の原発政策」ということは、原発存続が前提となっているということではないのか？

（男性・60代）

○原発なしの復興はどうすればよいのでしょうか？

電力は節約したほうがよいのか→復興しない

電力は消費したほうがよいのか→復興する

（男性・60代）

○国会での追及にもかかわらず、福島原発事故という大惨事が起こってしまいました。安全最優先の原子力政策の見直しを求めていくことになりましたが、今やはり全国の原発を即時停止し、脱原発を明確にすべきだと思います。いかがお考えでしょうか。

（男性・60代）

○1. 日本共産党が、今日的状況の下でも脱原発を鮮明にしていないようですが、その理由をお聞かせください。そうでない場合には、お答えいただかなくても結構です。

2. また、従来、民主・自由・公開の原則を守れば原発を認めるという立場であったと覚えています。私見では、原子を破壊して造るエネルギーは存在の秩序（神学的には「創造の秩序」）に反する「人間の傲慢の罪」に当たると思います。福島事態はそのことを如実に示していると思われますので、原子力エネルギーを廃止すべきと存じますが、御所見をお聞かせください。

（男性・70代）

野口・吉井両氏に対する質問

○スピーディな情報公開を、強く要請すべきではないでしょうか。ヨウ素とセシウムしか公表されていません。ストロンチウム90など、検査をしているのでしょうか。これも公開を要請すべきだと思います。

（男性・30代）

○先月のテレビ朝日の朝まで生テレビで、ホリエモン（堀江貴文氏）が原子力発電もかつての人間にとっての「火」と同じように人間の科学技術力や英知の発展で、きちんと扱えるようになるんだ、だから反原発や脱原発は人類史の後退を意味するというような発言をしていました。お二方はそれぞれどのようにお考えになりますでしょうか？

（男性・40代）

○コンクリートで固める場合は、熔融燃料の崩壊熱によるコンクリートの侵食作用がどの位の厚さまで進むか（チャイナシンドロームまで行くのか）という問題が発生するものと考えます。

また、コンクリートの侵食がある程度で停止するとして、コンクリートが熔融燃料まで確実に届くのか（原子炉圧力容器内は、セパレータや乾燥器などの複雑な機器があるため、コンクリートの注入の仕方について検討要）という問題もあると思います。また、一部の熔融燃料は、格納容器内（ペデスタル内）に落下していると考えられるため、ペデスタル内にもコンクリートを注入する必要があると考えられます。

圧力容器内、格納容器内及びプールを含む原子炉建屋内をすべてコンクリート詰めにした（石棺）とした場合の冷却は、簡易計算した結果では自然冷却で可能（必要に応じて噴水冷却）と考えています。

何れにしても、これらの問題点を明確にし、放射能放出を止める手段として、東電一政府に提示し世論の力で検討させるように持って行くべきと考えています。東電一政府に任せておくと、今は数ヶ月放射能を放出するを我慢して下さいとの立場ですが、数ヶ月経った後、「努力しましたが出来ませんでした。あと数年間は我慢してください。」というのが目に見えています。

（男性）

○いま明らかにされていない情報としてどういうものがあるか整理して示していただけませんか。今後のニュースを見ていくうえでもためになります。

（男性・40代）

○1. 原発はどういう原理でエネルギーを出しているのか。2. なぜ水をかけても鎮火、収束しないのか。3. 今後、どのようになったら危険なのか。長時間かかるそうですが、なぜですか。4. 根本的な終息はどうあるべきですか。

（男性・50代）

○1. 多くの人が考えているのは次の2点。①原発が止まったら電気がなくて困る！②東京は原発が遠いから少々怖くても仕方ない！原発撤廃はこの一般の考えを（衆愚）打ち破らねばならないと思う。有効策は何か。

2. 市民運動を大きく広くやっていく他ないのか？原発を管理制御できず、核汚染国家との国際批判に、連携をとって、外圧をも、利用すべきではないか。

(男性・60代)

○最悪の事態になったら、どのようなことが想定されますか？

(男性・60代)

- 1. 今なお、余震（大きい）が続き、日本の原発の心配は尽きませんが、吉井さんがおっしゃるように、専門家、実業家、政治、東電あらゆる英知を集めて、解決に当たるということをぜひやってほしいが、どのような手立てでやるのでしょうか。
2. 中立的機関（安全のための）を作るのも、具体的に進めるにはどうしたら良いか。
3. 放射能の人体への影響について冷静に正しく知るには、どうしたら良いか。

(女性・70代)

○テレビで放出された放射線量を報道するとき「直ちに人体に影響はありません」と必ず付け足しのように説明していますが、こんな説明を真に受けていいのでしょうか。今後の見通しもないのに、無責任ではないのでしょうか。この件についての考え方、見方をお聞きます。

(女性・70代)

○1. 日本は原発3割（これは世界第三位ですか）そして、火力、水力とかの比率はどうなっていますか。

2. 自然エネルギーへの転換の問題ですが、日本には原発のほうが財政的にやすくすむという考えがあると思いますが、実際そうですか。京大の先生の話では、原発の最終処分については、現在この経費は原発の全体の財政部には含まれないと言っていました。これを含めれば、自然エネルギーと同等か、むしろそれ以上になるのではないか。自然エネルギーについては開発が進めばだんだんコストを下げてくるだろうと言っていました。

(男性・74歳)

○1. 原子力安全委員会など各種の委員会が設置されているが、これらの組織の関係はどのようなになっているのでしょうか。

2. 現存する原子力発電所の核分裂の制御に係わる安全性は、今後どのようになされますでしょうか。
3. 安全で、再生可能、かつ経済性に対応したエネルギー対策は、今後どのような方向をとればよいでしょうか。

(男性・70代)

○1. 自然（大気）の汚染についてアメリカやロシアなどの核実験があり、それにアメリカのスリーマイル島原発事故やソ連のチェルノブイリ原発事故が加わり、大気の汚染が既に高まっているのではないかと思います。いかがでしょうか。

2. 原発に安全ということはあるのでしょうか。日本共産党は現在ある原発54基の総点検ということを政府に求めています。それは点検して安全と確認されれば稼働しても良いということになりますが、或いは不備を補修すればよいということになるのでしょうか。原発に将来中依存する部分から脱却できないということ。専門家の方から原子力エネルギーを使わないのはもったいないと聞いております。

(男性・80代)

○1. 「フクシマ」の原発災害によって放出された放射性物質の、現時点の総量推定はお分かりでしょうか。

2. チェルノブイリの場合の放出総量は公表されていますか。

3. また、チェルノブイリの場合の汚染地域の範囲およびその地域での被曝者数は公表されていますか。

(男性・80代)

○私の実家は南相馬市小高区で原発から約15～6キロです。実家は現在山形県に避難しています。福島第一原発の正常に戻るなど考えることが難しい状況では私の田舎は無くなってしまいます。報道を見ると、更に小高・浪江原発の計画もあります。志位委員長と菅首相との会談で新計画は見直すとなっていますが、どんなことがあっても許せません。運動は現地だけの問題ではなく、今後は全

国民的な運動に発展させてほしいと決意しているところです。

(男性・80代)

○チェルノブイリ事故においては、事故発生後1ヶ月後に石棺工事を開始しました。

福島第一の場合、事故発生から1ヶ月を経過しようとしています、どの原子力の専門家も「水を注入して崩壊熱を除去するしかない」との意見です。チェルノブイリで出来て、福島第一で出来ない理由を教えてください。

質問した背景を以下まとめておきます。

1. 地震発生後、津波の影響で、非常用ディーゼル発電機がすべてダメになったという時点で、これから大変な事態が起きると考えました。非常用ディーゼル発電機が生きていたとしても、建屋の外に設置されている非常用海水ポンプが全部やられたと考えられるので、原子炉の熱除去ができない。事故時冷却に絶対必要な非常用冷却装置(ECCS系)も使えない。この状態では、いずれは燃料が破損すると考えました。

2. 12日には、水素爆発で1号機の原子炉建屋天井部が破損しました。大量の放射能が環境に放出されたと考え、就寝時にもテレビをつけっぱなしにして状況をみていました。また、破損した階には使用済み燃料保管されているプールがあるため、それが破損して放射能の環境放出につながるのではないかと考えました。

3. 廃炉にするしかない、放射能の放出防止のためにあらゆる手段をとる必要がある。チェルノブイリの事故対応のように破損燃料をコンクリートで固め、放射能の放出を可能な限り少なくすることが必要と考えました。東電は、海水の注入を始めましたが、コンクリートの準備ができた段階でコンクリート注入に切り替えるだろうと考えていました。

4. その後、3号機と4号機の建屋が破損し、自衛隊がヘリコプターで水を使用済み燃料プールに落としましたが、効果がなく、プールに対しても消防車による海水注入に切り替えました。その後、チェルノブイリで使われたコンクリート注入機を手配したことを知り、これで、使用済み燃料プールは海水の代わりにコンクリートを注入し破損燃料を固める作業が始まるものと期待していましたが、期待はずれでした。

5. 現在、大量の水を注入したことにより原子炉建屋内に大量の汚染された水がたまっているものと考えられます。このような状態でコンクリートを注入するとたまった汚染水が敷地内にあふれ出てことも考えられますが、これを考慮しながら(例えば、コンクリートではセメントを使って汚染水を固める等)原子炉及びプール内の破損燃料をコンクリート等で固めることが放射能放出防止の観点から最善の方法と考えています。崩壊熱の除熱は、石棺の表面を空冷(又は、噴水による水冷)でできるのではないかと思います(チェルノブイリの場合はどうしたのか?)

6. 一方、原子力の専門家は、「今のところ、水を注入して崩壊熱を除去するしかない」と言うだけです。事故を収束する責任は、東電にあります。東電のやり方を見ていると、「復旧までに数ヶ月を要する」と発言するなど、放射能の放出防止よりも機器が大事、「人よりも物(機器)」の考え方で対策を進めているように思えてなりません。本当に今の東電のやり方でよいのかというのが私の疑問です。もし、今の東電のやり方がダメなら、まわり(外部)から具体的な対策案を提案して、政府を動かし東電に圧力をかけるしかないと考えています。

○いわゆるタイベックの「防護服」でβ線もγ線も防げないのは当然ですが、内部被爆も完全には防げないのではないのでしょうか? なぜならあの姿でも重度の花粉症のひとが花粉をまったく吸わずに行動できるとは思えないからです。

命を守るために有用なレントゲンによる外部被爆と、リスクしかない食物や吸引による内部被曝と同じように比較する表現がされていますが、あまりにも乱暴ではないのでしょうか? 特に内部被曝はどこまで安全と言えないと思いますが?

3月12日、1号機の燃料棒が露出しているというニュースの第一報を知り、すぐに友人の娘に「メルトダウン、そして水蒸気爆発(水蒸気爆発した三宅島の新潟池を思い出しながら)もありうるから外に出ないように」とメールしました。数日間はその可能性が非常に高かったと思うのですが(今でもないわけでは・・・)メディアはあまり触れないようにしていたような感じです。取り越し苦労だったとは思えませんが?

プルトニウム(つまりは核兵器)を必要としない日本が濃縮ウランと軽水炉を選択したというのは、アメリカの技術を買う、アメリカから原子炉を買う、アメリカから濃縮ウランを買う、というもうひとつの「核のカサ」に入ったということではないのでしょうか?

結果、プルトニウムが余り六ヶ所村に核兵器工場に転用できる施設をつくり、金属ナトリウムを使う(それだけでも危ないと思いますが)高速増殖炉「もんじゅ」をつくらねばならなかったのではないのでしょうか？

冷戦の時代、トリウム溶融塩炉が消えたのは「核兵器が作れない」という政治的な理由だったのではないのでしょうか？ レアアースの副産物としてそれこそ放射能汚染が心配なほど地上にあるトリウムを有効に利用する道を考えてはどうでしょうか？ 自然任せだけでなく、必要な量を任意でとりだせるエネルギーは自然エネルギーや核融合のつなぎとしても必要ではないのでしょうか？

六ヶ所村の原燃PR館のパンフレットに「カラのファントム戦闘機をレールにのせてゼロ戦くらいの速度で建屋にぶつける」写真があり、大型機や爆弾・燃料をかかえたジェット戦闘機が上から落ちたらダメだろうなとは思いましたが・・・3号機と4号機の建屋は水素爆発であつてなく柱と梁だけになってしまいました。「ふつうに鉄筋コンクリート・ラーメン造なんだなあ」と思い前述の写真は一番強度のある1階の柱を狙ったのだらうと推測しました。ある意味で捏造された写真だと思いますが？

福井の敦賀2号機の建設に行った方から、原子炉建屋のコンクリートを打つ時にバイブレーターがいつもの倍必要と言ったのにゼネコンの監督が用意しなかったため、セメント量の多い粘っこいコンクリートと太くて密度のある鉄筋のため、せき板を外したところ「人が入れるほどの」ジャンカが出来たそうです。検査の前に「コンクリートの色を合わせて上手に埋めた」そうでニュースに「敦賀原発」が出るたびにドキッとするそうです。同じ話を何度か聞きましたが、話のディテールが全く変化しないので「事実なんだなあ・・・」と思います。しかも真冬に基礎部分のコンクリートを打ったそうです。日本海の寒風が吹く中でコンクリート表面のレイタンス(表面のカス)処理をさせていたところ正月明けには作業員がみんな逃げていたそうです。作業員もそうですがコンクリートは凍結しなかったのでしょうか？ 原発ってこんなに乱暴に作られていいのでしょうか？

放射能の特性から、核事故や核実験は「緩やかな核戦争」だとすると、まだ生まれていない命も含め子どもたちにターゲットを向けていると思いますが？

敷地内からプルトニウムやコバルトが検出されたようですが、ストロンチウムのみが検出されない合理的な理由が思い浮かびません。あえて測定してないか、隠しているかだと思いますが？ ヨウ素剤のようにサプリメントでは防げませんか？

キビナゴが被曝したことで厚労省副大臣が「想定外だ」と言いましたが、食物連鎖による生物濃縮を知らないというのは、半世紀前の知識水準ではありませんか？ 親潮を汚したのですから、サンマのほろ苦いワタとかイカの塩辛など、今年は諦めたほうがよいのでしょうか？

農作物や海産物の基準を「ゆるくして」という意見がありますが、農家は自分の畑のものを、漁師は自分の海のことを子孫にいたるまで一生食べ続けます。「一年間食べ続けて・・・」という表現も、生産者は一年中食べているのですから「どれだけ東京目線なのか!」と思います。そもそも「放射線や放射能」に慣れていいんですか？ 私たちはヒロシマやナガサキ・ビキニを知る日本人です。

○1、収束したとして、その後の処方はどうなるのか？

*廃炉とあるが、無害処理できるのか。原子炉解体は可能なのか。

*チェルノブイリのように「石棺」に閉じ込め、次世代に引き継ぐのか。現在の科学・技術の到達点に限界はあるのか？

*人間の衣食住は可能なのか。(30キロ内は住めなくなるのか)

2、現在稼働中の原発(原子炉)をなくす場合の処方は？

*原子力発電依存からのエネルギー開発へ逐次、原発をとりやめたら、安全な解体は可能なのか。

*福島原発収束からの教訓はあるのか。

3、核兵器使用・原発との違いはどこか？

4、核兵器の解体処理方法と原発解体処理方法の違い、または共通点は？

5、放射性物質の主な種類とその影響(人体・食べ物・環境など)について素人にも理解できるように解説を。

○1、原子力空母ジョージ・ワシントンは3月11日時点で3年目の原子炉定期点検を行っていた(その後佐世保に行った)。空母の原子炉の「事故」について(地震、津波)の可能性をどのように考えているのか。

2、福島原発事故による「放射能漏れ」が広がっているが、体内に取り込まれての内部被曝がどのように想定されているか。

3、原発事故の「放射能漏れ」の収束の目処がなぜ政府・東電は見通せないのか。

○ヨウ素ばかりかセシウム、プルトニウムも検出されたとの報道もありますが、

1. 現時点でのレベルで、ヨウ素、セシウム、プルトニウムの放射線を複合的にを体内へ取り込むことによる健康への不安がありますが、どう考えたらよいでしょう。

放射能汚染について、農作物については検査体制の強化によって、各地域での出荷制限をし、市場に出回っているものは安全との事ですが、海洋汚染も発覚したいま、海産物を食べることへの不安も消費者の中で大きくなっています。

2. 茨城県沖で取れた魚ばかりか、千葉産の魚も敬遠されていますが、海産物を食することをどう考えたらよいのでしょうか。

また、食物連鎖の中で蓄積されることはあるのでしょうか。

○核燃料の冷やすための注水が続いています。汚染水は増える一方ですから、再び海への流出は避けられないのではないのでしょうか。

素人考えですが、移し替えようとしている汚染水を使って核燃料を冷やせば、汚染水の増加量を減らせると思うのですが、そういうことはできないのでしょうか。

○出荷できなくなった農作物を畑に鋤きこんでいましたが、セシウムを土に混ぜてしまうのではないほうが良いと思いますが？

食品の安全をアピールするため線量計などを使う様子がテレビでありましたが、シンチレーションのほうが良いと思いますが？

半世紀前のビキニ事件のときは主婦のみなさんは買いためでなく署名をはじめました。むかしの人々は偉かったのですね。